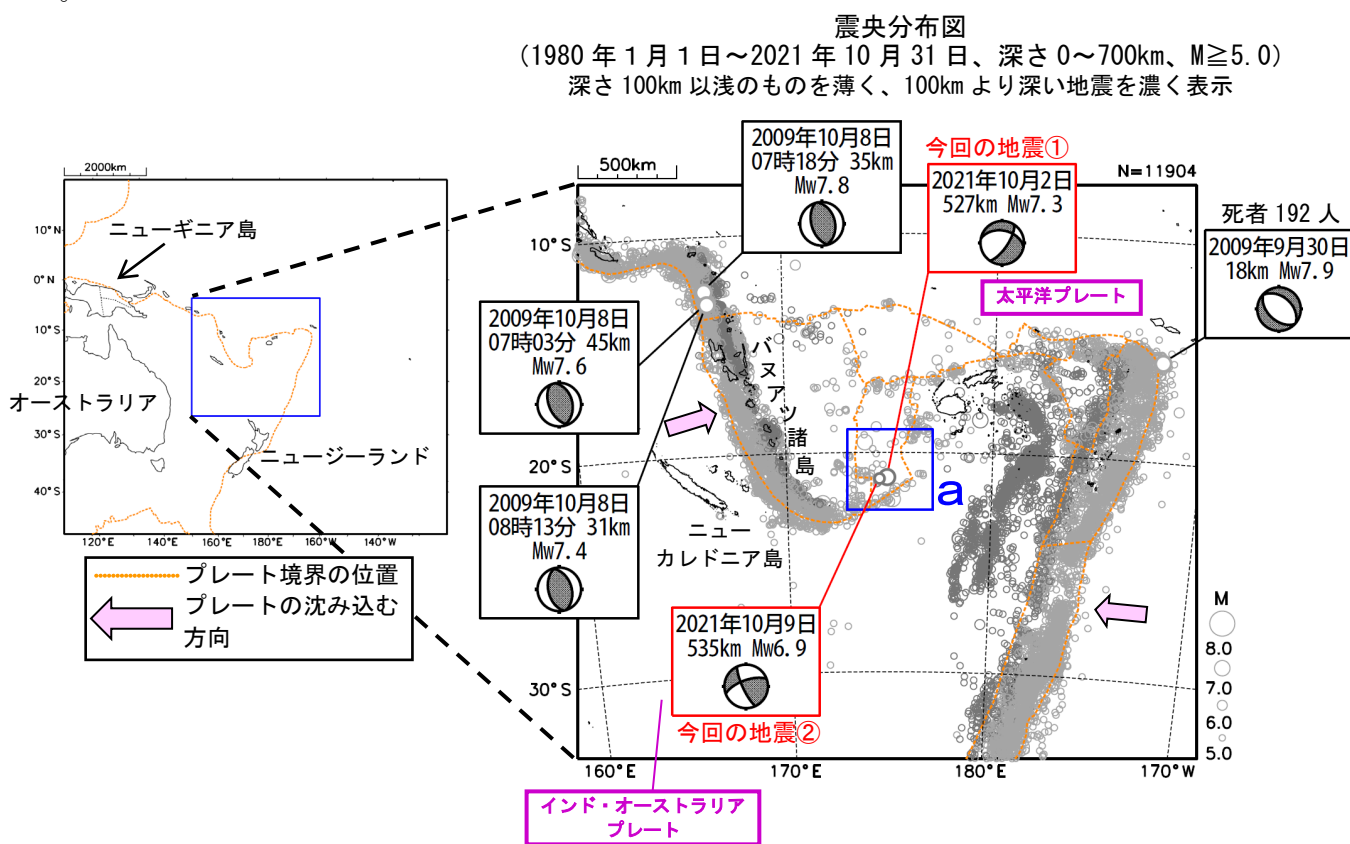


10月2日、9日 バヌアツ諸島の地震

2021年10月2日15時29分（日本時間、以下同じ）にバヌアツ諸島の深さ527kmでMw7.3の地震が発生した（図中①）。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ型である。気象庁は、この地震に対して、同日15時51分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

また、10月9日19時58分に同じくバヌアツ諸島の深さ535kmでMw6.9の地震が発生した（図中②）。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日20時23分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M7.0程度の地震が深さ100km以下で時々発生している。また、今回の地震の震央周辺を含む周囲の地域は、地震活動が活発な地域である。2009年9月30日02時48分に発生したサモア諸島の地震（Mw7.9）では、この地震による最大4～6mの津波がサモア諸島に到達し死者192人などの被害が生じた他、日本にも父島二見に同日11時59分に到達し、岩手県の久慈港で36cmの津波を観測した。また、2009年10月8日には、バヌアツで07時03分にMw7.6の地震が、さらに07時18分にはMw7.8の地震が、08時13分にMw7.4の地震が発生した。



※本資料中、吹き出しを付けた地震の発震機構とM_wは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2021年11月1日現在)。プレート境界の位置はBird (2003) *より引用、プレートの進行方向はUSGSによる (https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/tectonic/images/emaustralia_tsum.pdf)。2009年9月30日のサモア諸島の地震の被害はUSGSによる。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.